

常陸大宮市文化財保存活用地域計画について

■人口：39,904人
■面積：348.45 km²

◆常陸大宮市の概要

歴史文化

常陸大宮市は、古代の東海道諸国最北の常陸国、現在の茨城県北西部に位置します。

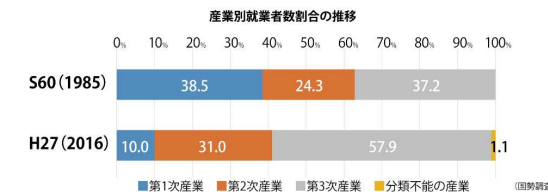
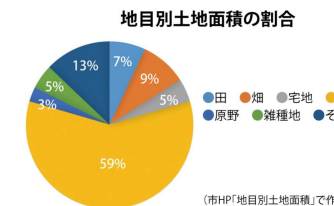
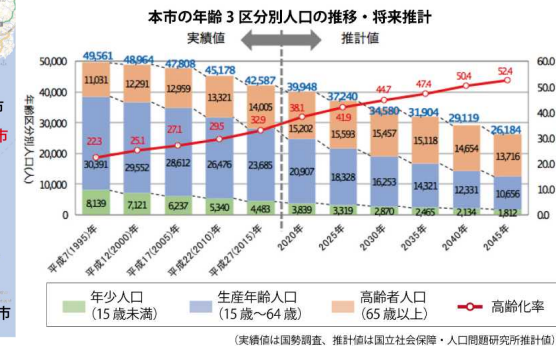
常陸大宮市の特徴	具体的内容
1 交わりの地	1 平地と山地
	2 西から流れる那珂川と北から流れる久慈川
	3 温暖気候と寒冷気候
2 境の地	1 西南日本と東北日本を分ける棚倉構造線
	2 奥州・下野との境
	3 境の地の民俗
3 長期にわたる佐竹氏と水戸徳川家の支配	1 佐竹氏をもたらした文化と雪村周継
	2 美濃佐竹氏と紙漉き技術
	3 水戸藩三大江堰の築造
	4 水戸藩の宗教政策による破壊と保護
	5 水戸藩治世下の農村文化―組立式農村舞台の存在―
4 特産物をもたらした富と文化と地域間の交流	1 紙問屋の集中と富の蓄積
	2 在郷の文人
5 山岳信仰と二十四輩寺院	1 聖なる山 西金砂山と鷲子山
	2 親鸞聖人二十四輩寺院の集中

文化財の概要・特徴



社会的状況

東京中心部への移動時間がJRや直通バスで2時間前後と比較的便利で自然豊かな環境ですが、人口及びかつて基幹産業であった農業・林業（第1次産業）就業者数は激減しています。



計画名称・計画期間

常陸大宮市文化財保存活用地域計画・2020～2027年度（8年間）

◆推進体制

常陸大宮市

教育委員会 文化スポーツ課(文化財行政主管課)
学校教育課・生涯学習課
政策審議室 企画政策課
地域創生部 地域創生課
市民生活部 市民協働課
産業観光部 農林振興課・商工観光課
秘書広聴課・支所・建設部・消防本部ほか

行政設置の関係機関・公的機関

常陸大宮市文化財保護審議会・文化財保存活用地域計画協議会・泉坂下遺跡保存活用整備委員会・市史編さん委員会専門部会・文化財保護指導委員（設置予定）
茨城大学、茨城県立歴史館 ほか

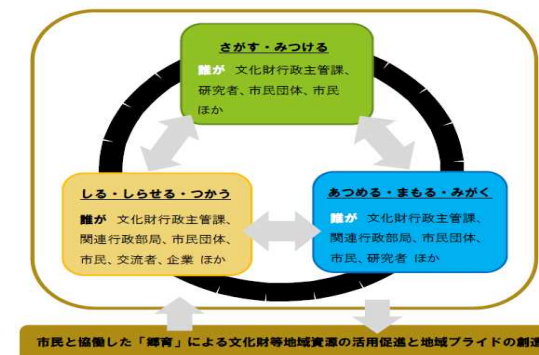
茨城県教育庁総務企画部文化課

文化財レスキュー団体

茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク

その他民間団体・個人

常陸大宮市伝統文化連絡協議会、森と地域の調和を考える会、(一財)茨城建築士ヘリマネ茨城協議会県北グループ、各地域の郷土史研究団体、泉坂下遺跡をまもる会、消防団、市民、学生等交流者 ほか



常陸大宮市文化財保存活用地域計画【茨城県】

◆文化財の保存活用に関する主な課題

「さがす・みつける」の課題

- ・人口減少や空家増大等による個人所有資料の調査困難
- ・現体制での多分野・全市域の悉皆調査は困難
- ・地域住民が地域資源の存在と価値に気付いていない

「あつめる・まもる・みがく」の課題

- ・資料収集における情報入手の困難
- ・保存継承を担う人材の不足
- ・被災等に備えた連携体制の不備
- ・収集資料・データの適切な保存及び公開の不足
- ・現体制での調査研究の深化の困難

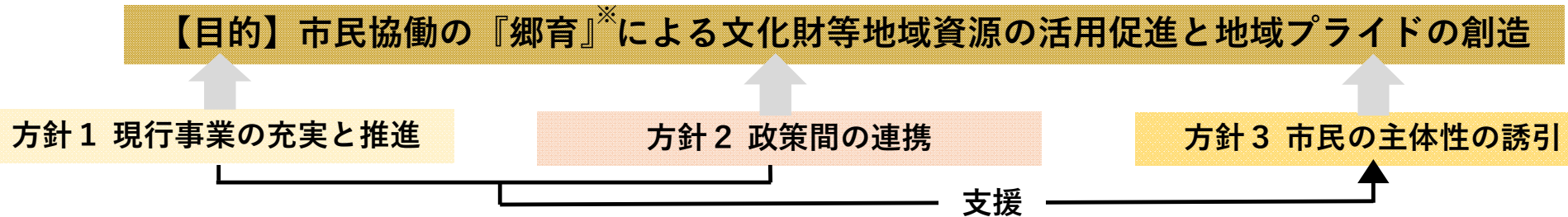
「しる・しらせる・つかう」の課題

- ・地域資源に関する周知の不足
- ・関連催事への参加者の固定化
- ・説明板等のデザインに統一性がない
- ・学校教育や生涯学習との連携不足
- ・伝統的特産品の利活用の減退
- ・地域資源に対する誤った理解の可能性

総合的な課題

- ・市域を超えて存在する地域資源の調査・保存・活用が困難
- ・文化財の保存・展示及び様々な活動の拠点となる施設と体制が未整備

◆文化財の保存活用に関する方針



※郷育 / 市が掲げる、ふるさとの歴史・文化・自然を学び舎とする人づくりの考え方

◆文化財の保存活用に関する措置

例1)専門家・市民・行政協働による地域資源の把握と調査研究(方針1・3)

市域に埋もれている様々な地域資源を、各分野の専門家や、子どもたちを含む市民とともに掘り起こし、調査・研究を進めて新たな知見や価値を知り、保存・活用につなげる。

■取組主体 郷土史研究団体、市民、市史編さん専門部会、市教委文化財担当課 他

■計画期間 令和2～9年度

例2)地域文化財を守るしくみづくり(方針1～3)

文化財保護指導委員の設置や文化財所有者連絡協議会結成による計画的な文化財修理の実施、及び、消防組織、警察、地域住民、文化財レスキュー団体との連携を強化し、地域の文化財を地域で守る仕組みを作る。

■取組主体 市教委文化財担当課、市消防本部、消防団、警察、市民、茨城史料ネット他

■計画期間 令和2～5年度

例3)地域資源の積極的な活用による保存・継承(方針2・3)

和紙やメノウ、那珂川の鮭などの伝統的産品を、農林振興課等他部署の事業を活用して、現代の生活スタイルや嗜好に合った製品開発を行い、需要拡大を図ることで、伝統技術や漁法の保存継承を進める。

■取組主体 伝統産業従事者、市産業観光部、市民、市教委文化財担当課 他

■計画期間 令和2～9年度

例4)文化財保存活用拠点施設の整備(方針1～3)

文化財等地域資源の収集・保存・調査研究・学習など市民協働での活動拠点であるとともに、地域資源による地域活性化や製品開発時の歴史文化の裏付けなど、シンクタンクともなる施設・体制の整備を実施。

■取組主体 市教委文化財担当課、市関係部署、市民 他

■計画期間 令和2～9年度

常陸大宮市文化財保存活用地域計画【茨城県】

◆関連文化財群

	歴史文化の特徴	関連文化財群の名称	令制 国郡
Ⅰ 交わりの地			
1	平野と山地の交わり	① 東日本の弥生時代解明のカギをにぎる再葬墓 ② 江戸時代初期の水戸藩の食糧増産巨大プロジェクト 久慈川と那珂川に建造された三大江堰	○
Ⅱ 境の地			
1	西南日本と東北日本を分ける 棚倉構造線との境	③ 棚倉構造線形成期に続く地殻変動に由来する 産物「メノウ」	
2	奥州・下野との国境	④ 佐竹氏の攻防と市内に残る中世城郭跡及び関連資料 ⑤ 災い来るな！災厄払う六字様行事とオカシマサマ	
Ⅲ 長期にわたる佐竹氏と水戸徳川家の支配			
1	水戸藩治世下の農村文化	⑥ 農村文化の総合芸術 組立舞台と山車・屋台	
Ⅳ 特産物がもたらした富と文化			
1	紙問屋の集中と富の蓄積	⑦ 紙がもたらした経済力と文化を伝える高部宿	○
Ⅴ 山岳信仰と二十四輩寺院			
1	親鸞聖人二十四輩寺院の集中	⑧ 6カ寺もの二十四輩寺院及び関連史跡と文化財	

Ⅰ-1-①東日本の弥生時代解明のカギをにぎる再葬墓

弥生時代黎明期に営まれた再葬墓として、初の国指定史跡となった泉坂下遺跡を有する常陸大宮市には、稀少な再葬墓遺跡が4遺跡確認されており、調査・研究の進展による謎多き当時の東日本の解明に期待が寄せられています。

【構成文化財】

- ・泉坂下遺跡及び出土品
- ・小野天神前遺跡及び出土品
- ・中台遺跡及び出土品
- ・宿尻遺跡及び出土品



左/泉坂下遺跡出土人面付壺形土器
上/宿尻遺跡再葬墓遺構出土土状況

Ⅳ-1-⑦紙がもたらした経済力と文化

当市域は、水戸藩の財政の三分の一を支えた最大の産物「紙」の主産地でした。上質な楮（那須楮）の産地でもある当地には、市内各所に藩公許の紙問屋が点在し、江戸の著名な紙問屋と直結した在地問屋として富を築き、文化的にも地域に大きな影響を与えました。

【主な構成文化財】

- ・常陸大宮市及び周辺地域の和紙生産用具及び製品
- ・西の内紙（手漉和紙）
- ・喜雨亭及び養浩園 他



西の内紙

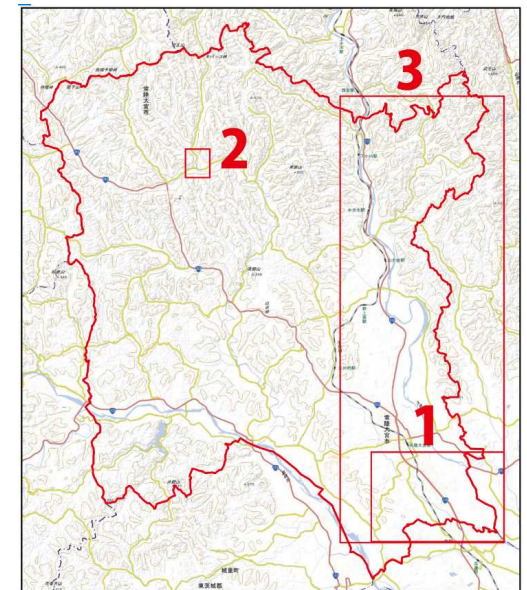
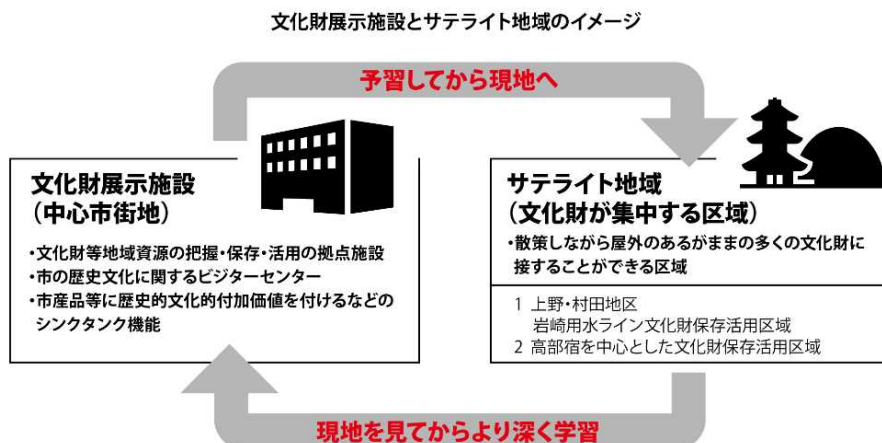


養浩園

◆文化財保存活用区域

	文化財保存活用区域の名称
1	上野・村田地区 岩崎用水ライン文化財保存活用区域 ～泉坂下遺跡の周辺散歩で常陸大宮の5000年をタイムトリップ！～
2	高部宿を中心とした文化財保存活用区域 ～中世の面影遺す山中の町並み～
3	歴史の道百選 南郷道 ～水戸と奥州をつなぐもうひとつの道～

◎文化財保存活用区域の1と2は、あるがままの多くの文化財に接することのできる区域として、中心市街地に整備予定の拠点施設（文化財展示施設）のサテライト地域と位置付けます。



常陸大宮市文化財保存活用地域計画【茨城県】

文化財保存活用区域 1

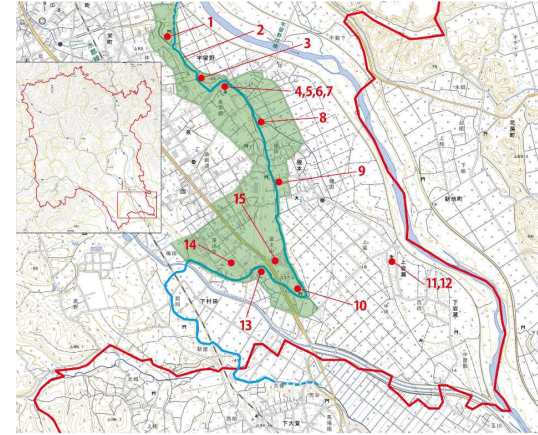
上野・村田地区 岩崎用水ライン文化財保存活用区域 ～泉坂下遺跡の周辺散歩で常陸大宮の5000年をタイムトリップ！～

【概要】

西東を流れる玉川と久慈川の合流部を望む大宮台地の南端とその周辺は、中世城郭跡や国史跡の泉坂下遺跡をはじめとする遺跡、古墳、社寺、石仏石塔など多様な文化財が数多く分布する地域です。近世初期に台地東の崖直下に設けられた、水戸藩三大江堰のひとつ「岩崎江堰」の用水路沿いに5kmほど散策すれば、常陸大宮の5000年に思いを馳せることができます。なお、当文化財保存活用区域については、文化財展示施設のサテライト地域であるとともに、泉坂下遺跡の史跡整備に連動するものとします。

【主な構成文化財】

宇留野城跡・前小屋城跡（中世城郭跡）、坪井上遺跡（縄文中期）、泉坂下遺跡（弥生中期）、富士山遺跡（弥生後期）、富士山古墳群、誕生寺蔵 了譽聖岡禅師座像、道沿いの石仏、岩崎用水、雪村筆洗いの池 ほか



泉坂下遺跡遺物出土状況



了譽聖岡禅師座像



富士山古墳群 五所堂神社古墳

保存活用に関する主な課題

【あつめる・まもる・みがく】

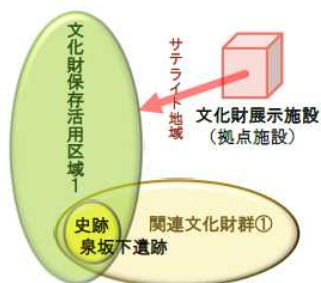
- ・ハード面ソフト面とも適切な環境整備が行われていない。
- ・防犯・防火・防災意識が低く、災害時における文化財搬出などの体制や対応が不十分。
- ・収集・集積したデータの適切な管理が不十分。
- ・把握した地域資源に関する調査研究の深化が困難。

【しる・しらせる・つかう】

- ・関連する教育普及活動参加者の多くが高年齢層で固定化しており、子どもたちを含む幅広い年代への普及ができていない。
- ・文化財等の説明板の破損・汚損や未設置がみられ、記述する内容やデザインにも統一性がない。
- ・地域の活性化に有効な地域資源をうまく活用できていない。
- ・地域管理の社寺が所蔵する文化財が県立歴史館に寄託されており公開できない。

保存活用に関する措置例

〈複合的な取組イメージ〉



基本方針1) 現行事業の充実と推進

計画立案中の泉坂下遺跡史跡整備を核として、道標や案内板を設置するなど周遊路の整備を図るとともに、市史編さん専門部会等と連携して調査研究を進め、データの集積と公開、教育普及活動を推進。

■取組主体 市教委文化財担当課、市史編さん専門部会 他

■計画期間 令和2～9年度

基本方針2) 政策間の連携

駐車場などの付帯施設の整備、健康づくりや生涯・学校教育と連携したイベントの創設、市街地が近い地の利を生かした食や買い物と組合せたPR等の実施。

■取組主体 市建設部局・健康推進課・学校教育課・生涯学習課・商工観光課、岩崎江堰土地改良区、市教委文化財担当課 他

■計画期間 令和2～9年度

基本方針3) 市民の主体性の誘引

様々な世代の地域住民に、身近にある貴重な文化財の存在を周知する機会を設けて、ふるさとを見直すきっかけを作るとともに、自主的なイベントの実施や周遊地の管理、防犯・防災等、文化財保護意識の醸成を図る。

■取組主体 泉坂下遺跡をまもる会、消防団、市民、市教委文化財担当課 他

■計画期間 令和2～9年度

常陸大宮市文化財保存活用地域計画【茨城県】

文化財保存活用区域2

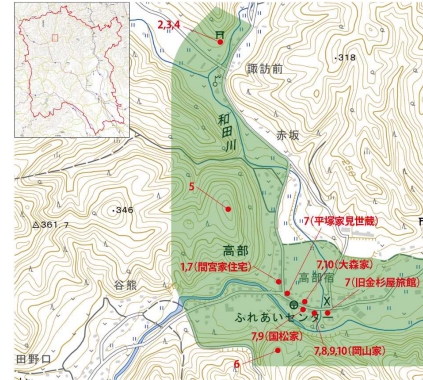
高部宿を中心とした文化財保存活用区域 ～中世の面影遺す山中の町並み～

【概要】

高部宿は、下野国那須郡に通じる東西の道に奥州につながる北からの道が合流する丁字路に立地し、中世は高部城の宿場町として、近世は楮・紙・葉タバコ・木材等の集積地として栄えました。特に水戸藩最大の産物であった紙は、北の高品質の楮産地と道で直結し、紙漉き農家の多い村々が隣接する高部宿に大きな富をもたらし、複数の藩公許の紙問屋や裕福な商家が軒を並べ、江戸の紙問屋や教養人との交流が様々な文化をもたらしました。裕福な家々は、紙の需要が減少しても酒造業や金融業等に転身して富を維持し、高部宿はコンパクトな交易地として和洋折衷の独特の町並みを形成しました。

【主な構成文化財】

間宮家住宅、諏訪神社本殿、高部城跡、諏訪神社棟札・絵馬、高部宿の町並み、岡山家庭園 養浩園・喜雨亭、旧酒蔵、家蔵文書 ほか



保存活用に関する主な課題

【あつめる・まもる・みがく】

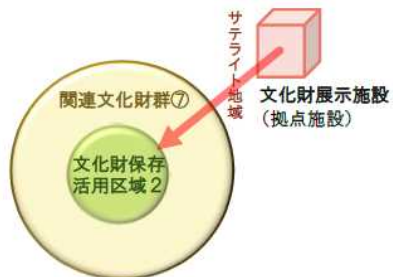
- ・町並みの保存と、道路拡幅など交通の利便性の両立が困難。
- ・所有者の費用負担が大きく、文化財の適切な管理や修復が進まない。
- ・消火設備の設置など、文化財を守る方策を立てていない。
- ・人口減少により、地域文化財の保存・継承が困難。

【しる・しらせる・つかう】

- ・郷土の歴史文化が、子どもたちに身近な存在となっていない。
- ・市内外に対して市の歴史文化の特徴や魅力、関連する教育普及活動について、分かりやすい情報発信ができていない。
- ・地域資源の観光資源としての利活用が進んでいない。
- ・行政主導の企画・運営による、個人の家の集合体である町並みを整備・公開することの困難。

保存活用に関する措置例

〈複合的な取組イメージ〉



基本方針1) 現行事業の充実と推進

保存整備する町並みの範囲を決めるための建物等の調査を進め、積極的な文化財登録・指定を行うとともに、地域創生交付金等の活用を図るなど計画的な修復・整備を実施し、所有者の負担減を図る。

■取組主体 市教委文化財担当課、県ヘリテージマネージャー 他

■計画期間 令和2～9年度

基本方針2) 政策間の連携

見学者の安全を確保するための道路や、便益施設・消火設備等の整備、及び、道の駅や温泉施設と連携したルートの設定や、学校教育での利活用、観光パンフレットへの掲載・HP等での発信を図る。

■取組主体 県・市土木部局、市産業観光部、地元小中学校、市教委文化財担当課 他

■計画期間 令和2～9年度

基本方針3) 市民の主体性の誘引

所有者や地域住民の意向を尊重して協議を重ね、もともとあった地元の良さを活かし、地元ファーストの配慮のもと、地域住民が主体となった調査や企画運営の実現を目指す。

■取組主体 文化財所有者、森と地域の調和を考える会を中心とする地域住民、市教委文化財担当課・地域創生部 他

■計画期間 令和2～9年度